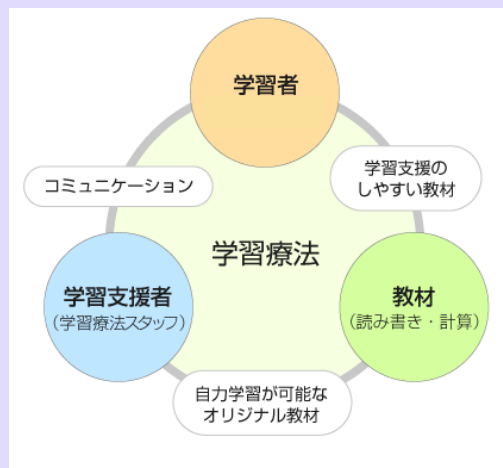


学習療法とは

音読と計算を中心とする教材を用いた学習を、学習者と指導者がコミュニケーションをとりながら行うことにより、学習者が認知機能やコミュニケーション機能、身辺自立機能などの前頭前野機能の維持・改善を図るものです。



【お申込み・問い合わせ】

お申込みは下記までお電話ください。

〒950-0983

新潟市中央区神道寺 2-4-24

NPO 法人 脳の健康教室 みどりの森

☎ 080-7773-7940

(月～金 8:30～17:30)



『学習療法®』は東北大学・川島隆太教授と公文教育研究会の登録商標です。

ご案内

—学習療法—



楽しく脳を鍛えませんか？

NPO 法人
みどりの森



学習診断

・ 認知機能検査実施、適した教材を選定

教材配布

・ 読み書き、計算

自宅学習

・ 目安：1日1回×週5日（1日30分程度）

参加

・ 配布された教材を持参し、会場で実施（月2回）

認知機能検査とは（所要時間約 30 分）

前頭葉機能検査（FAB（ファブ））

FAB = 前頭葉機能検査は、前頭葉機能を簡便に測定できる面接形式の検査です

認知機能検査（MMSE）

MMSE = 認知機能検査は、認知機能や記憶力を簡便に測定できる面接形式の検査です

学習療法の効果

● 学習療法は、前頭前野を活性化させ、認知症予防にも応用されています。

前頭前野の働き

1. 思考する
2. 行動を抑制する
3. コミュニケーションする
4. 意思決定する
5. 情動の制御をする
6. 記憶のコントロールをする
7. 意識・注意を集中する
8. 注意を分散する

● 認知症を予防・改善するには、簡単な読み書き・計算が、前頭前野の機能を高めます。

前頭前野が活性化する例		前頭前野があまり活性化しない例	
左脳	右脳	左脳	右脳
3+4=などの簡単な計算をしているとき		54÷(0.51-0.19)=などの複雑な計算をしているとき	
本を声に出して読んで（音読して）いるとき		一所懸命に明日の予定を考えているとき	

● 音読や計算をしているときと同様に、コミュニケーションをしているときも、前頭前野が活性化します。学習療法では、学習者と学習支援者とのコミュニケーションが、学習効果を高めるために重要な役割をはたします。



【募集要項】

開催曜日 第1、第3 木曜クラス

（祝日、お盆、年末年始除く）

時間 13:00～14:30

場所 緑樹苑 1階カフェコーナー

費用 1ヶ月 3,000円

（教材費・送料込）

定員 1回4名

※詳しくはお問い合わせください

電話：080-7773-7940